

飛 はつらつ 刺

第2号

2021.02

津田学園高等学校
学校通信



文化祭

9/17(木)、9/18(金)に文化祭を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オープニングを各HRで実施し、放送や各クラスの出し物を動画で紹介しました。また、マスク着用や消毒の徹底、三密を避ける等の対策も実施しました。例年とは違った形での開催となりましたが、展示や発表において工夫を凝らし、この日までの準備の成果を出し切っていました。2日目はNTNシティホールにて実施し、午前中にはコメディーマジックコンビ キャラメルマシーンによるマジックショー、パフォーマンスを鑑賞しました。午後は恒例の剣道部による劇や太鼓の舞台発表、ダンス部によるパフォーマンスが行われました。どの舞台も大いに盛り上がりを見せました。

生徒会長 鈴木 琉生 さん
川越中学校出身

文化祭の運営は、生徒会役員になって2期目で会長として初めての大きな仕事になりました。しかし、例年の文化祭と比べて難しいものだったと思います。それは、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響があったからです。

もともと生徒会として様々な企画を実施するつもりでした。今年からの新しい試みとして、生徒会や部活単位で模擬店を実施することや、例年よりも装飾や案内などに力を入れようという話が出ていました。我々も会議を重ね、話が前に進み出した時に暗雲が立ち込めてきました。三重県の感染者数の増加により模擬店は中止。体育館でのオープニングも中止となりました。正直、絶望感のようなものがありました。しかし、私より辛かったのは3年生の方々でした。体育祭もなくなった中で、高校生活最後の行事である文化祭で出し物をするのができないという状況はどうすることもできないモヤモヤがあったと思います。3年生の方々にも楽しんでもらえる方法は正直わからなかったし、時間的にも難しいなと思っていました。

そんな時、先生方に相談したところ妙案をいただきました。それは、各クラスの企画に3年生の方々に優先的に案内する

というシステムです。私は、頂いた案を必ず実行すべく生徒会、そして担当の先生に話を通して実現させました。このシステムが今回の文化祭の成功の大きなポイントであったと思います。

迎えた当日、どのクラスも盛況でした。極端に行列ができているところもなく、各クラス満遍なく人が動いていたと思います。文化祭が終わって思っていたのは、今回はイレギュラーだった一言に尽きます。しかしながら、例年に比べ全員で作上げ、楽しんだ達成感があったと思います。3年生を優先するシステムも、各クラスの協力がなければできなかったですし、こんな理不尽な情勢の中で3年生の方がハメを外したりすることはありませんでした。そしてこんな厳しい状況の中でも少しでも楽しめる文化祭にするため様々なことを考えてくださった先生方、すべての人がこの未曾有の事態に前に協力した結果だと思えます。

後日、3年生の方が楽しんでいただけたという話や好評を頂いたこと友人からも楽しかったと言ってもらえるのも嬉しかったです。限界を最大限に全力で楽しみ、全ての人で作上げた今年の文化祭は胸を張って素晴らしい文化祭だったと言い切れます。

修学旅行レポート

1日目

待ちに待った修学旅行。朝の集合時間に誰1人遅れることなく全員で出発することができた。新幹線もしっかりと乗ることができ、移動している時間の中、楽しみが心の中で膨らんだ。最初の目的地は太宰府天満宮。みんな自分の勉学への望みをお願いした。そしてみんなが一番楽しみにしていたであろうハウステンボスに着いた。みんな一目散に自分のホテルの部屋に駆け込み、イルミネーションの光る方へ走り出した。広場に一步入るとそこは、光り輝く幻想的な世界が広がっていた。夜空のしたで華麗に輝くチャペル、1万個のクリスタルがきらめく巨大なクリスマスツリーが忘れられない思い出を作ってくれた。ハウステンボスでは、クリスマスショーやVRアトラクションなどとても充実した時間を過ごした。そしてホテルに帰り、明日の準備を行い修学旅行1日目を終えることができた。

2日目

私たちは、2日目に平和公園を訪れ、長崎市内を散策しました。平和公園では、平和記念像や浦上天主堂、平和祈念資料館を見学しました。そこでは、戦争の恐ろしさや命の大切さ、尊さを改めて実感しました。特に平和祈念資料館では、当時の収蔵品が保存されており、より鮮明に原子爆弾の威力を思い知りました。また、長崎市内の自由散策では各グループが事前に目的地を決め、ルートを計画し、現地の風景を楽しむことができました。目的地の1つである長崎中華街では、長崎名物であるちゃんぽんや角煮まんを食べました。グラバー坂のオランダ物産館がチェックポイントであり、そこでは修学旅行のお土産として長崎のカステラをたくさん買いました。あっという間の1日で、とても充実していました。

3日目

3日目は吉野ヶ里遺跡、秋芳洞、秋吉台に行きました。吉野ヶ里遺跡は、自分が思っていたよりも広くて大きく、とても2千年前に作られたとは思えないほどしっかりできていて、その雰囲気にも圧倒されました。中でも、一番最後にメインで見に行った主祭殿は、特に荘厳で、当時の人々の魅力を結集して作られたのだらうなと思うと、本当に圧倒されました。秋芳洞は、入る前から洞窟ならではの独特な雰囲気にも引き込まれる感じがしました。入ってからは、その美しさに目をずっと奪われていました。これが自然の神秘だと思えば、心が浄化されていく気がして、それまでの移動の疲れもすっかり忘れて景色に没頭してしまいました。この秋芳洞にいた時間は、とても短く感じました。秋吉台は、秋にただ来てあって、やや茶色に染まった草の葉が、夕日でさらに強調されて、とてもきれいで、とても広くて、走り出してしまいたいような気持ちになりました。歩いて少し遠くまで行ったけど、とてもすっきりした気分になりました。全体的にこの3日目は自然に触れることが多かったけど、気分もリフレッシュできて、とても中身の濃い1日になったと思います。

4日目

修学旅行4日目、私たちは山口県萩市を中心に活動しました。午前中に萩市内を自転車で散策し、午後は各地の名所を回りました。萩市内の散策のプログラムは、修学旅行の行程の中でも私が楽しみにしていた行事の1つです。主な名所としては、松陰神社や松下村塾など今でも名を残す人物をまつ場所や、山口県の特徴として買人が多く輩出しているという点があるので木戸孝允や高杉晋作をはじめとした多くの偉人の邸宅やまたそれらの人物に関係する建造物が多く立ち並んでいます。やはり、大多数が松陰神社など学問に関する名所に行っているのが見受けられました。中でも、私自身も行った松陰神社では、多くの生徒が見られ、お守りなどを買っていた生徒もいました。それぞれの班が、事前に立てた計画で歴史や偉人達の偉業などにも触れることができ満足でした。午後は、まず瑠璃光寺五重塔に行きました。事前に調べた画像よりもキレイで、とても大きかったです。常栄寺雪舟庭では、紅葉が見ごろを迎えており写真映えする場所でした。岩田錦帯橋は実際に渡っていた時よりも、遠くから見た時の方が魅力を感じました。日本有数の橋であると事前に聞いていた通りとても良い橋でした。山口の美しい景色と歴史的建造物を堪能できたよい1日でした。

5日目

5日目は朝からフェリーに乗って宮島に行きました。厳島神社は改修工事中で鳥居が見れなかったのは残念でしたが、社殿の中を歩くことができました。生徒の中にはおみくじを引いている人やお守りを買っている人がいました。島の中にはいくつもの重要文化財があり、その中でも反橋が印象に残っており、私も渡ってみたいと思いました。社殿から出てしばらく歩くと、五重塔が見えてきました。紅葉の時期ということもあり、とてもきれいで、鳥居屋で昼食をとり、それぞれお土産を買いました。もみじまんじゅうやかきじょうゆ、しゃもじなど、みんな最後の買い物を楽しんでいました。表参道商店街にはたくさんのお店が並んでおり、揚げもみじまんじゅうやソフトクリームなどの食べ歩きをしている人もいました。帰りの船は外に出ることができたので、海の風を感じながら景色を楽しみました。ガイドさんの話を聞きながら車窓より見学した原爆ドームはあいにく工事中でしたが、たくさんのことを学ぶことができました。



卒業生へメッセージ

夢の実現

学校長 細見 明典

卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。皆さんは「Boys, be ambitious.」「青年よ 大志をいだけ」という言葉を知っていると思います。札幌農学校の教師であったクラーク博士の言葉として有名です。実はこの言葉の後には次のように言葉が続いていたのです。

Boys, be ambitious, not for money or selfish aggrandizement not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.

訳すと「青年よ 大志をいだけ。それは金銭や自分勝手な欲望のためでなく、また名声というむなしなもののためであってはならない。それは自分の能力の最善をつくし、自分が人として成すべきことに到達するためにあるものでなければならぬ」という意味です。

これからは、社会に貢献できる大きな夢を持ち、自分の能力に磨きをかけ、夢の実現に向かって突き進んでください。自分を信じて、あせらず、あわてず、一步一步進んでいってください。

至誠にして動かざるものは、未だ之あらざるなり

第3学年 学年主任 多田 圭介

これは私が尊敬する幕末の思想家・吉田松陰の言葉で「心を尽くして相手に接すれば、心をうごかされない人はいない」という意味である。

AI技術の発展等によって今後の社会の変化は一段と激しさを増すであろう。のみならず、感染症の拡大によって日常生活でさえ既に大きな変化を余儀なくされている。

そんな人と人との関係が希薄になりそうな未来に羽ばたく君たちにだからこそ、冒頭の言葉を贈りたい。

どんなに社会が変化しようと、人と人との関係の重要性は変わらない。物事の「本質」を見極めることができる立派な大人になることを期待している。

卒業、おめでとう。



繋がり

進路指導主事 門脇 昌也

高校生活の中でお世話になった人たちの顔を思い浮かべてみましょう。皆さんが今日まで過ごせてこれたのは多くの人の支えがあったからです。進路実現とは「将来、充実した暮らしを手に入れること」だと話をしたことがあると思います。大学入試において評価の大部分を占めるのは学力です。しかし、社会に出れば学力がすべてではありません。

また、充実した暮らしは自分一人で手に入れるものではありません。人と人の繋がりを大切にしながら、周りの人から愛される人間になることが大切です。高校生活で磨いた人間力を活かし、将来、活躍してくれることを期待しています。これから、新たな生活の始まりです。まずは、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えることから始めましょう。

卒業式 表彰内容等一覧

- 私立連合会長賞 田井 榛乃
- 優良生徒児童表彰 (三重県私学協会) 本郷 隼士
- 体育賞
 - 野球部：谷頭 幹太 中村 宇亜 榮 龍騰
 - テニス部：平野 幹二 植田 春輝 齋藤 駿太
 - 少林寺部：水谷 是紀

- 文部科学大臣特別賞 水泳部：山本 恵太

- スポーツ庁長官特別賞 水泳部：山本 恵太 黒田 蒼栄 大山 玲慈

- 精勤賞
 - 伊藤 歩希 木下 空音
 - 松本 紀香 福田 菜々子
 - 小原田 一太 神尾 美玖
 - 服部 夢希 大屋 結
 - 松永 玲奈 平塚 あゆみ
 - 恩田 慶次郎 安藤 萌依
 - 菊池 涼太

- 卒業証書受領者 關目 芙実佳

- 同窓会理事
 - 出口 寿希也 阿部 麗
 - 小原田 一太 島 ののは
 - 山本 海翔 稲森 春花
 - 菊池 涼太 栗田 殊里
 - 市野 航希 田中 沙希
 - 近藤 遥人 石川 みゆう
 - 國分 聖太 小川 真葉



津田学園高等学校

〒511-0904 三重県桑名市野田5-3-12
TEL (0594)31-6311 / FAX (0594)31-8179
email koukou@tsudagakuen.ac.jp

詳しくはウェブをチェック!

津田学園高等学校

<http://tsudagakuen.ac.jp/koukou/>



津田学園高等学校公式 Facebook

